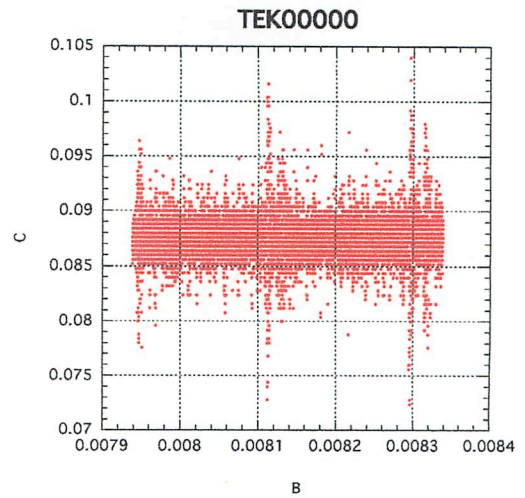
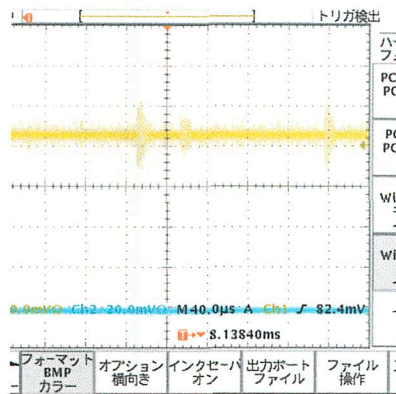


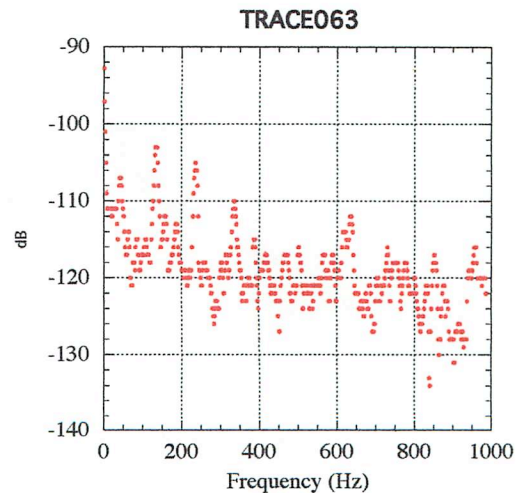
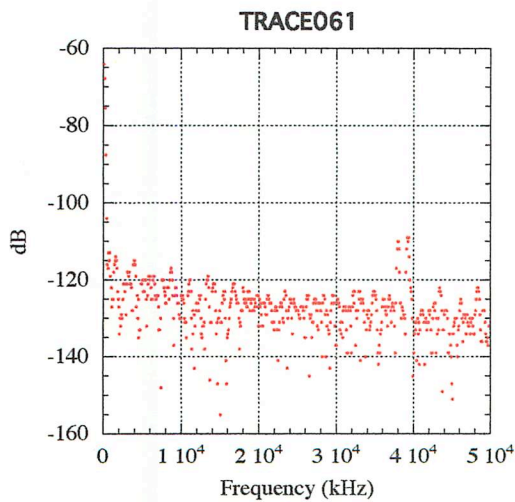
レーザーノイズ測定 (1) 2003.6.17 加藤、吉野、田中

DTL につけたレーザーのままの状態、DTL 最下流のレーザーターゲットから、フィルターへはいる直前の生信号をスペアナで観察。同時に、レーザー本体の架台の振動も測定。

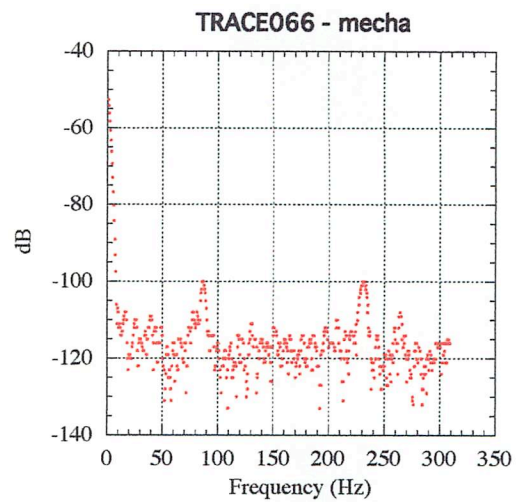
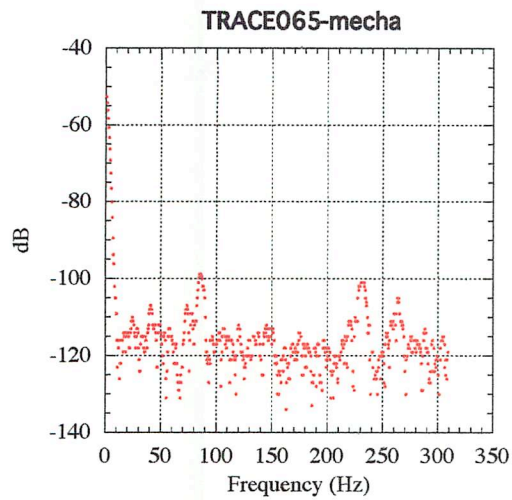
- 1) レーザー生信号には、2種類のパルスバーストノイズがある。図1, 図2(ひとつは約 40 kHz)



- 2) これらをスペアナでみると 図3, 4.



- 3) 変位測定をスペアナでみると (縦と横)、図5, 6.



まとめ：

- 1) レーザー測定でスパンが 1 kHz のデータの横軸がポイント数 (?) なの
で、取り直し。
- 2) 第 1 項の誤差がある事を考慮に入れて、機械振動がレーザー信号にもあら
われている。
- 3) フィルターの出口を、同じようにして測定する必要がある。
- 4) NF 回路の変調フィルターがあるので、それを使って、スペアナ測定する。
- 5) なお、4 個の quadrant の信号は、同様のノイズであった。